



厚生委員会

市の環境福祉部、こども保健部及びクリーンセンター建設事務所の所管に属する事項に対応する委員会です。

◎津本辰己 ○近藤吉一郎
 秋久憲司 川端恵美子 末永弘之
 松本義隆 山田 誠

厚生委員会に付託された議案3件について審査した。

議案第18号のうち、関係する項目の審査では、ふれあい村等事業委託料について、今回の予算化の経緯に対する質疑が出され、平成24年度当初予算に組み入れられなかったため、関係者と協議のうえ事業内容を整理し、国や県の補助金を活用するなどして、引き続き取り組んでいく運びになったとの答弁であった。委員からは、弱い立場の方々に対する予算措置については配慮を求めたいとの意見が出された。

老人福祉センター運営補助金は、一昨年の津山市版事業仕分けにおいて廃止の判定を受けた老人福祉センターバス運行委託事業に代わる予算措置である。委員からは予算化に対する市の見解について質疑が出され、現在バスを運行している社会福祉協議会と協議を重ね、仕分け結果に対する市の対応方針

や、利用者の足の確保に対する支援などについて検討してきた結果、老人福祉センターから公共交通機関の結節点までの送迎については市として支援せざるを得ないと判断したとの説明であった。

新規事業として提案された高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業について、委員からは情報の周知徹底を求める意見が出された。審査の結果、全員一致で原案のとおり可決とした。

議案第19号、並びに議案第23号については、両議案とも全員一致で原案のとおり可決とした。当局からは5件の報告事項があり、この中で、「津山市総合斎場について」、「し尿処理について」はさまざまな質疑応答があった。

総合斎場の黒煙問題では、地元町内会から出された要望等に対する当局のこれまでの取り組み状況や対応について聴取した。

斎場から発生した黒煙の原因を

特定し、今後の再発防止策を検討するため、火葬炉メーカーによる施設の緊急点検と、火葬方法の検証を実施しているとのことであり、環境調査も今年度中に実施予定とのことであった。

また今後の斎場運営については、話し合いの場を設けるとともに、周辺整備事業に関する地元町内会との協議については、協議確認書に基づき地元と協議を続けており、今回の問題とは別に今後も継続していきたいとの説明であった。

し尿処理の問題については法令などに基づき、これまで該当の事業者や元従業員に対する各種調査や検査を実施してきた。調査の経過を庁舎内部の審査委員会に対し随時報告し、今後の調査計画等を検討しているとのことであった。最終的な報告目標を12月定例会とし、今後も努力を重ねたいとの説明であった。